

# 向丘・弥生・根津・千駄木地区コミュニティ・ゾーン整備計画 【住民意見交換会資料】

## § 1. コミュニティ・ゾーン整備

文京区の交通事故件数は、全体として減少傾向にあります。幹線道路に囲まれた地区内の事故件数は増加傾向にあります。特に地区内の高齢者や子どもが被害者となる場合が多く、地域のコミュニティに大きな影響を与えています。

そこで文京区では、平成19年度に「文京区コミュニティ道路整備計画」を策定し、整備を優先すべき地区として「向丘・弥生・根津・千駄木地区」を選定したところです。

## § 2. 検討経緯

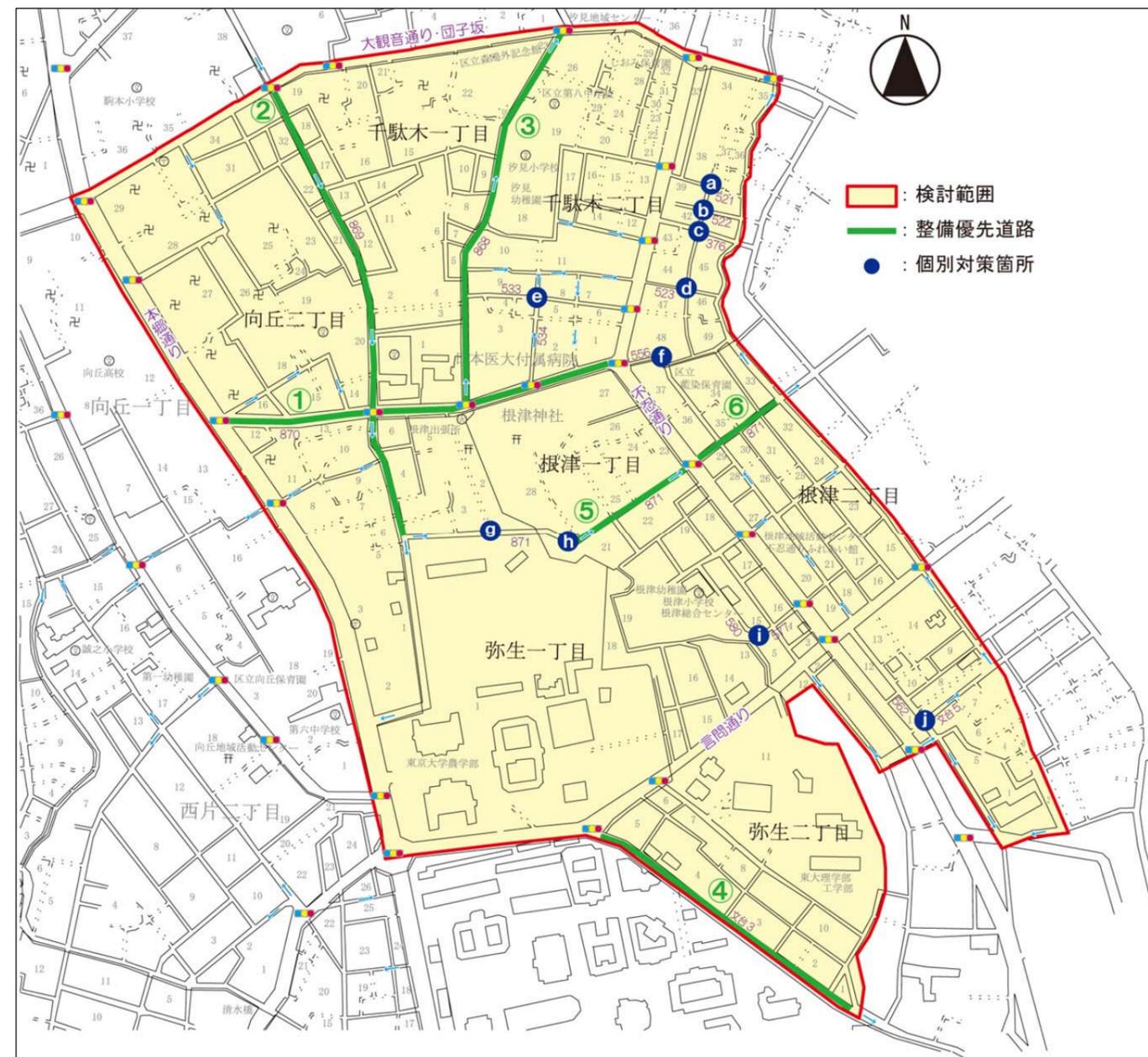
本地区のコミュニティ・ゾーン整備については、町会代表者・小学校代表者・所轄警察署・公募区民等から構成される「向丘・弥生・根津・千駄木地区コミュニティ・ゾーン整備協議会」を立ち上げ、昨年度は基本計画、今年度は整備計画(案)の検討を進めてきました。

■「向丘・弥生・根津・千駄木地区コミュニティ・ゾーン整備計画」における主な検討経緯

	開催日		主な内容	
	向丘・千駄木エリア	弥生・根津エリア		
H25年度	住民説明会	H25. 5. 31		・コミュニティ・ゾーン整備の必要性について
	第1回協議会	H25. 6. 26		・協議会検討内容及びスケジュールの確認
	危険箇所アンケート調査*	地域住民：H25. 7. 3～26 小学生：H25. 7. 8～16		・1,000名対象(無作為抽出) ・153名対象(駒本小・誠之小・汐見小・根津小)
	第2回協議会	H25. 9. 26	H25. 9. 27	・地域住民及び小学生アンケート調査結果報告 ・まちあるき
	第3回協議会	H25. 12. 6		・基本方針及び整備優先道路の検討
H26年度	第4回協議会	H26. 2. 3		・基本計画の検討
	第5回協議会	H26. 7. 2		・整備の基本的方向性の検討
	一方通行化アンケート調査	暗闇坂：H26. 7. 9～31		・弥生二丁目対象(485通・164棟)
	沿道町会説明会①	藍染大通り：H26. 8. 29		・道路幅員構成等について
	第6回協議会	H26. 9. 12	H26. 9. 2	・一方通行化アンケート調査結果報告 ・整備優先道路における整備計画案の検討
	沿道町会説明会②	S坂下～不忍通り：H26. 11. 12 藍染大通り：H26. 11. 19		・舗装デザインについて ・舗装デザイン及びスルス歩道社会実験について
	景観配慮型舗装アンケート調査	H26. 11. 20～26		・ふれあい館ロビーにて実施(有効回答数33通)
	第7回協議会	H26. 12. 1	H26. 12. 11	・整備優先道路の整備計画案再検討 ・個別対策箇所における整備計画案の検討
	スルス歩道社会実験	H26. 11. 29～12. 17		・アンケート調査：H26. 12. 11～25(根津二丁目対象(448通・225棟)) ・現地アンケート：H26. 12. 14
	住民意見交換会	H27. 2. 2	H27. 2. 3	・整備計画(案)に関する意見交換
第8回協議会	予定) H27. 2. 17		・整備計画の検討及びスケジュールの確認	
住民説明会	予定) H27. 3. 11		・整備計画に関する説明	

## § 3. 整備優先道路及び個別対策箇所の設定

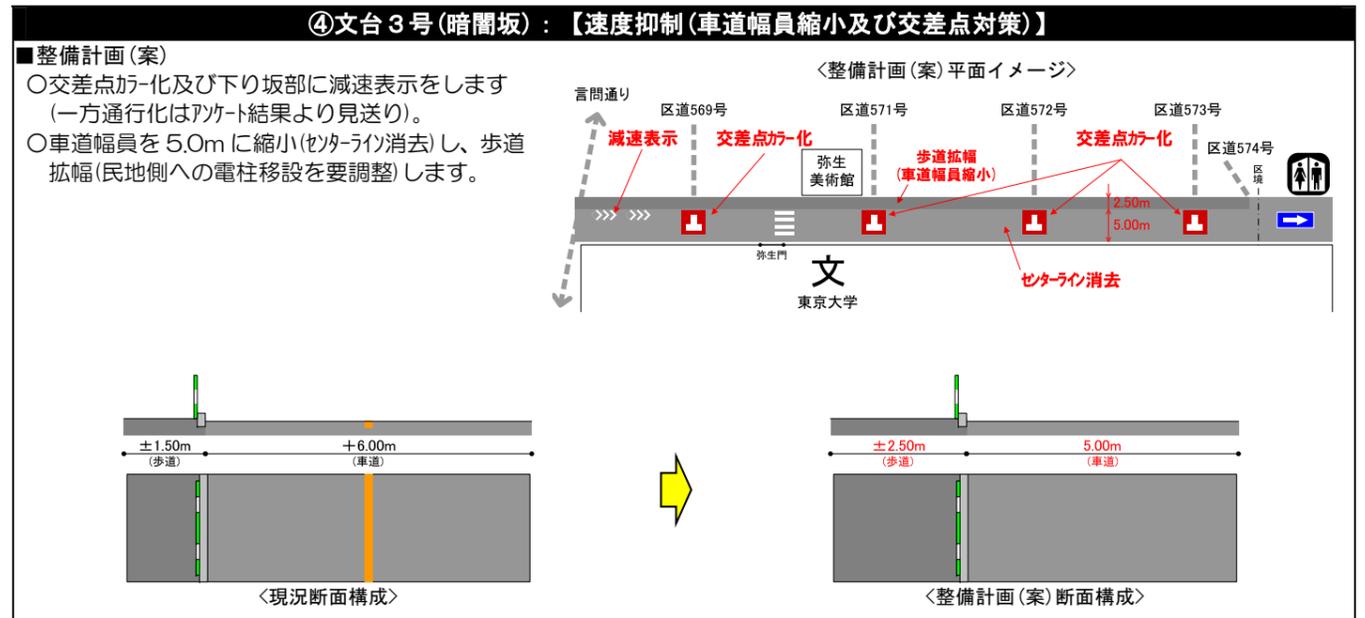
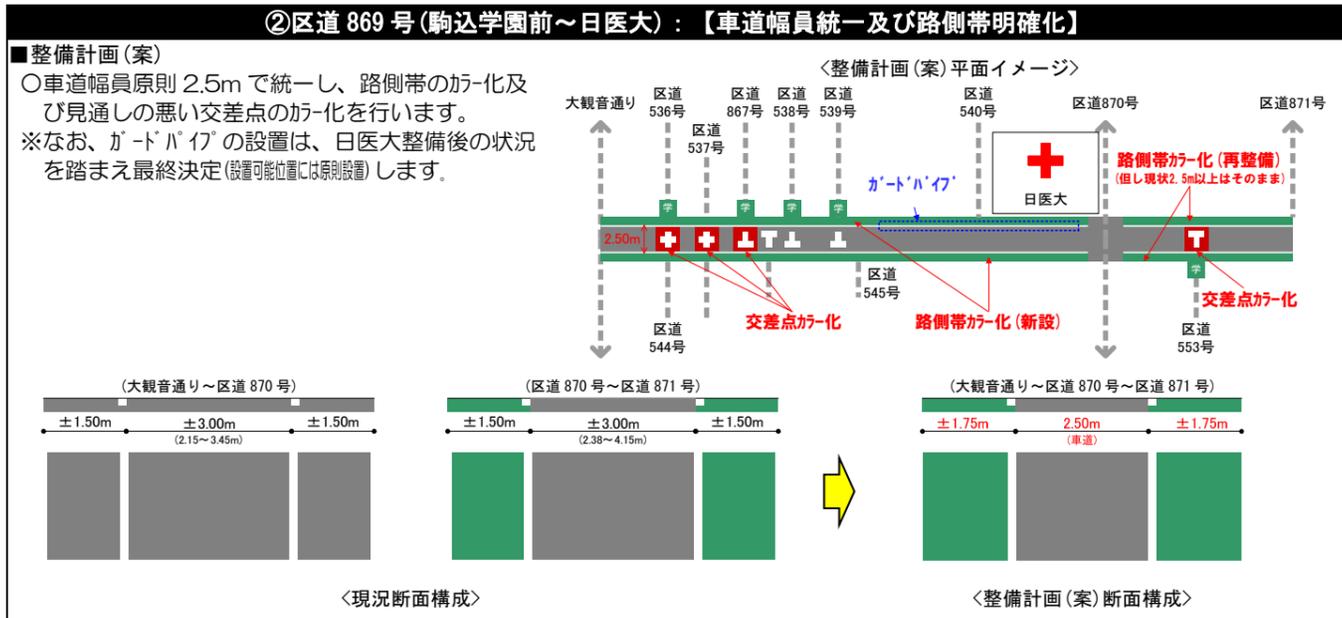
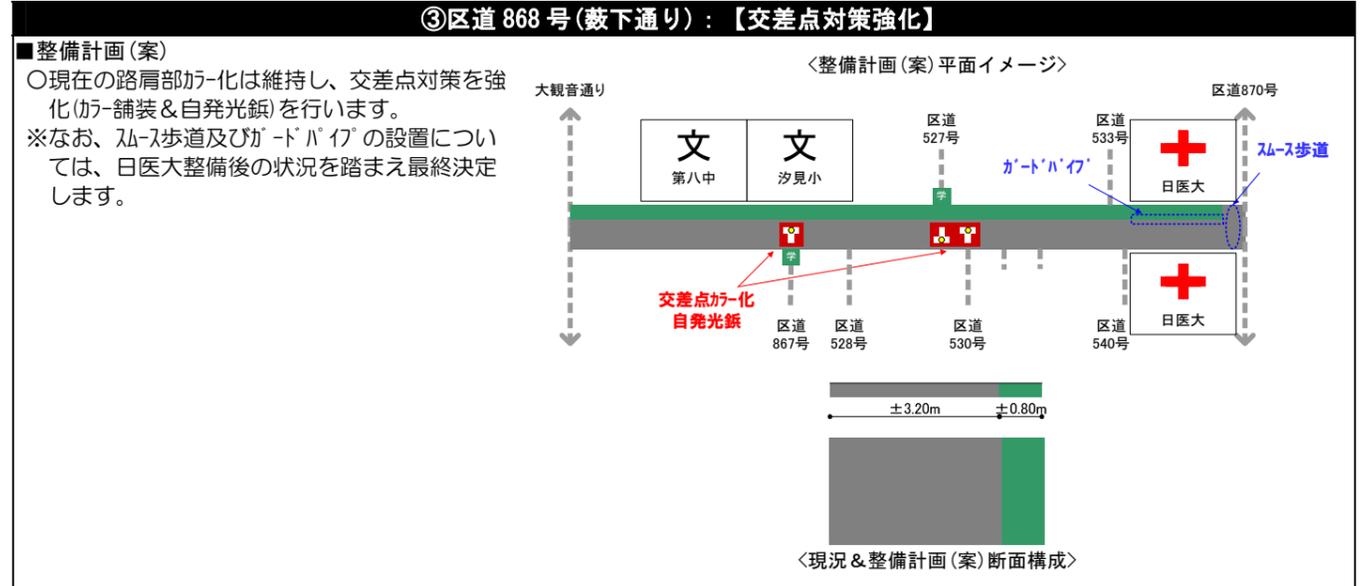
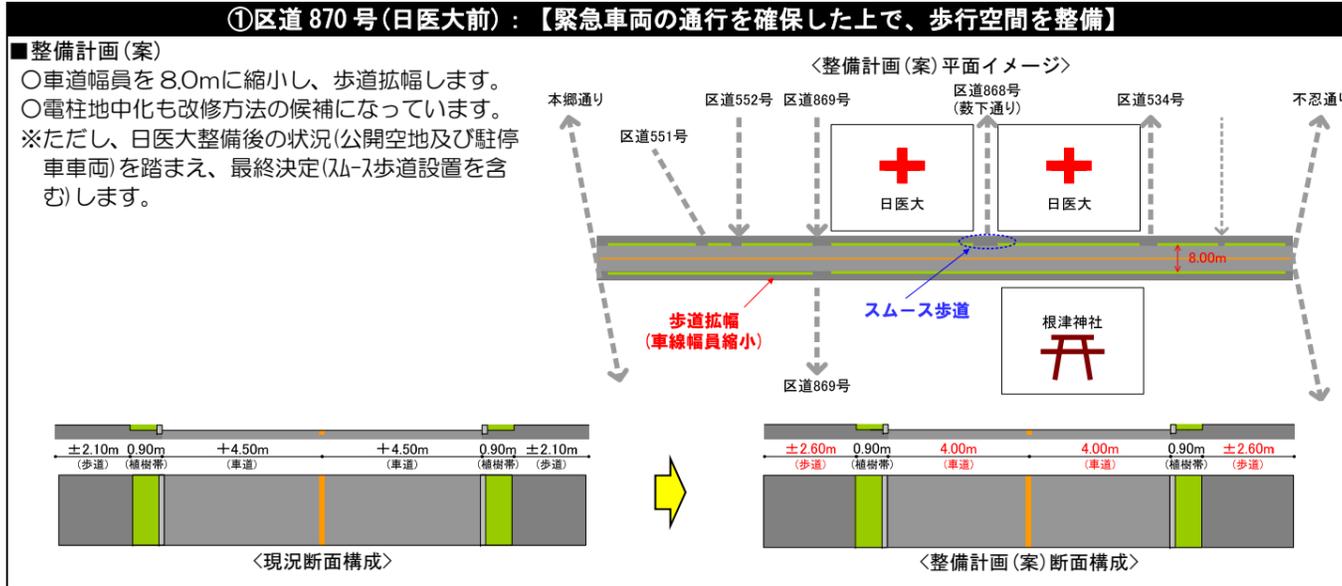
本地区のコミュニティ・ゾーン整備については、「事故発生件数」「ヒヤリハット指摘数」「観光客利用ルート」等を踏まえ、整備優先道路と個別対策箇所を下図のとおり設定しました。



■向丘・弥生・根津・千駄木地区コミュニティ・ゾーン整備計画検討範囲

#### § 4. 整備優先道路における整備計画(案)

○協議会にて検討してきた整備優先道路における整備計画(案)は、以下のとおりです。



⑤区道 871 号(S坂下~不忍通り)：【両側外側線設置及び景観配慮型舗装】

■整備計画(案)  
○車道幅員原則 3.0m で統一し、参道景観に配慮した石畳風グレーアスファルト舗装とします。

〈整備計画(案)平面イメージ〉

路側帯確保(全線両側)  
景観に配慮した舗装(車道・路側帯同じデザイン)

区道586号 (S坂下~区道586号) (区道586号~不忍通り)

区道586号 (S坂下~区道586号) (区道586号~不忍通り)

〈現況断面構成〉 〈整備計画(案)断面構成〉

【景観配慮型舗装のイメージ】  
〈現在〉 〈整備計画(案)〉

○根津神社参道との連続性を意識し、舗装全面(車道・路側帯)を【石畳風アスファルト舗装(カッター目地)】とします。舗装後、アスファルトに切れ目を入れ、石畳のように見せます。

※本図はイメージのため、色等は実際と異なることがあります

⑥区道 871 号(藍染大通り)：【歩車物理的分離及び景観配慮型舗装】

■整備計画(案)  
○根津神社参道との連続性にも配慮し、車道は石畳風グレーアスファルト舗装(歩道は通常グレーアスファルト舗装)とします。  
※道路の幅員構成の変更はしませんが、スムーズ歩道(バリアフリー化)及び植栽については、継続検討していくこととします。

〈整備計画(案)平面イメージ〉

スムーズ歩道  
景観に配慮した舗装(車道のみ)

区道556号 区道558号 文台5号

区道556号 区道559号 区道558号

0.3m (植樹帯) 0.3m (植樹帯)

0.3m (植樹帯) 0.3m (植樹帯)

レンガ舗装 レンガ舗装

レンガ舗装 レンガ舗装

〈現況断面構成〉 〈整備計画(案)断面構成〉

【景観配慮型舗装のイメージ】  
〈現在〉 〈整備計画(案)〉

○車道は、根津神社側と同じ【石畳風アスファルト舗装(カッター目地)】とします。  
○現在の歩道はレンガ舗装で滑るとの指摘、また車道と歩道の区別をより際立たせるため、歩道は通常の【アスファルト舗装(目地なし)】とします。

※本図はイメージのため、色等は実際と異なることがあります

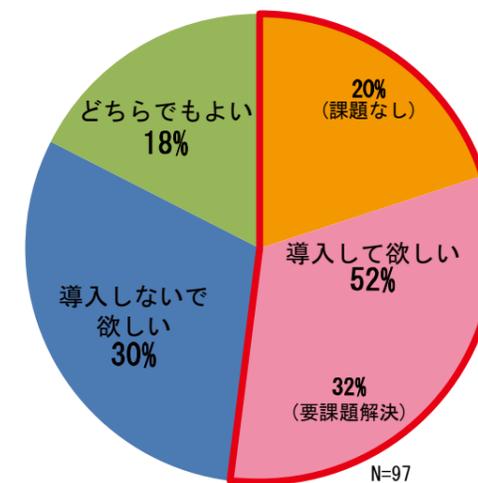
【スムーズ歩道社会実験について】

○11/29~12/17の19日間、社会実験として【スムーズ歩道】を⑥区道 871 号(藍染大通り)に設置しました。

○アンケート及び聞き取り調査の結果は下図のとおりです。  
課題として、車道と歩道の段差をもっと低くし、高齢者・車いす・自転車が安全に往来可能なような改善が必要」といった解決が条件とされていました。

【スムーズ歩道とは】

- 通常、歩道と車道の高さが違うため、車両が出入する箇所にどうしても段差が生じます。
- スムーズ歩道は、歩道に挟まれた車道部分を歩道と同じ高さにして、利用しやすい歩道にするものです。
- また、通過する自動車や自転車に対し、速度を低下させる効果も期待でき、交通安全対策としての機能もあります。



- の段差部分について、
- 勾配を緩やかにする
  - 段差があることを分かりやすくする
- などの検討をしていきます

§ 5. 個別対策箇所における整備計画(案)

○協議会にて検討してきた個別対策箇所における整備計画(案)は、以下のとおりです。

	【 現状 】	【 整備計画(案) 】
a		<p>・交差点内が私道であり、既に加マークが設置されているため、<b>現状のままとします。</b></p>
b		<p>・私道との交差点ですが、協議会内で協議した結果、<b>[交差点内ニト舗装]</b>を再検討することとします。</p>
c		<p>・<b>[交差点内ニト舗装]</b>を実施し、交差点の視認性を高めます。</p>
d		<p>・<b>[交差点内ニト舗装]</b>を実施し、交差点の視認性を高めます。</p>
e		<p>・<b>[減速表示(止まれ線・減速標) + [自発光式標]</b>を実施し、自動車・自転車の速度抑制及び夜間における交差点の視認性を高めます。</p>
f		<p>・<b>[交差点内ニト舗装]</b>を実施し、交差点の視認性を高めます。</p>

	【 現状 】	【 整備計画(案) 】
g		<p>・<b>[交差点内ニト舗装]</b>を実施し、交差点の視認性を高めます。</p>
h		<p>・<b>[セブプレート舗装]</b>を実施し、自動車の速度抑制を図ります。</p>
i		<p>・<b>[交差点内ニト舗装]</b>を実施し、交差点の視認性を高めます。</p>
j		<p>・<b>[交差点内ニト舗装]</b>を実施し、交差点の視認性を高めます。</p>